

リストNo	26-001	施設コード	40001			
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水					
施設名	中部浄化センター					
所在(町名・番地)	中区瓜内町1825					
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公用財産	—			
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳			
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳			
設置根拠(法)	地方公営企業法					
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例					
設置目的	浜松市中心地の中部処理区から流入する汚水及び雨水処理をすることにより市街地の浸水を防ぐ					
主な利用者	—					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	—					
建物情報	総延床面積	20,897.49	土地面積	95,370.81		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	95,370.81	
	地上階数(主要建物)	3			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2007/4/1				
	経過年数(主要建物)	16				
用途地域	準工業地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	216	121	105
	収入計(A)	216	121	105
支出(千円)	人件費	45,000	9,160	9,160
	物件費(委託料)	411,795	319,673	317,949
	維持補修費(修繕費)	202,927	321,310	188,159
	物件費(光熱水費)	22,349	22,417	17,547
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	682,071	672,560	532,815
行政コスト(B-A)		681,855	672,439	532,710
収支前年比		101.40	126.23	148.73
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	汚泥処理棟2号濃縮汚泥貯留槽防食改良工事	41,969	2021	令和3年度 公共下水道事業 改良費1号 中部浄化センター汚泥処理棟防食改良工事	37,912
2022	第2ポンプ場屋上防水改修工事	20,460	2021	令和3年度 公共下水道事業 修繕費1号 中部浄化センター汚泥処理棟修繕工事	113,868
2022	汚泥処理棟無停電電源装置修繕工事	11,880	2021	令和3年度 公共下水道事業 修繕費1号 中部浄化センター汚泥処理棟修繕工事	148,500
2021	令和3年度 公共下水道事業 改良費1号 中部浄化センター屋上防水改修工事	6,551	2021	令和3年度 公共下水道事業 修繕費1号 中部浄化センター汚泥処理棟修繕工事	20,911
2021	中部浄化センター場内逆流管マンホール修繕工事	22,312	2020	令和3年度 公共下水道事業 修繕費1号 中部浄化センター汚泥処理棟修繕工事	15,216
2021	令和3年度 公共下水道事業 修繕費1号 中部浄化センター屋上防水改修工事	4,994	2020	令和3年度 公共下水道事業 修繕費1号 中部浄化センター汚泥処理棟修繕工事	155,244

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
26-005	南ポンプ場	—	1.4	
26-006	東雨水ポンプ場	—	1.8	
同分類				
その他の分類				
13-015	法枝団地	地域	0.2	
15-098	江西中学校	生活	0.6	
08-004	江西保育園	生活	0.6	
03-080	江西会館	コミュニティ	0.8	
07-007	江西児童館	生活	0.8	
15-021	浅間小学校	生活	0.9	
13-020	春日団地改良住宅	地域	0.9	
03-047	白脇協働センター	生活	1.0	



基本情報	リストNo	26-001	施設コード	40001	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課		
	施設名	中部浄化センター			施設	上下水道部下水道施設課			
	人員数	正規職員(人)	4	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	2		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		浜松市中心地の中部処理区から流入する汚水及び雨水処理をすることにより市街地の浸水を防ぐ							
		主な業務内容	下水及び発生汚泥の処理						
		主な利用者	—						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				特記事項			
		<small>分派区域の流入量は減少しているが、近年のゲリラ豪雨や台風の大化に伴い、短時間で分派区域流入量が増加傾向にあるため必要不可欠と思われる。</small> <small>ゲリラ豪雨への対応や、発生汚泥を有効利用し循環型社会に貢献する為にも、必要不可欠と思われる。</small> 施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要である。							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①				2022	—	のべ募集人員	参加者数	—	
				2021	—	—	—	—	
				2020	—	—	—	—	
				2022	—	—	—	—	
事業②			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
事業③			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
事業④			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課	課題	昭和41年の供用開始施設であり、施設全体が老朽化しており、更新時期に達している機器が多い。そのため今後も故障などが多くなる事が予想されるが、機器更新の際には、施設を運用しながらの施工になる為、その都度上流ポンプ場の送水制限などの大規模な養生が必要となる。							
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
記入欄	民生活導入	廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	32,629	32,178	25,492	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo	26-002	施設コード	40002	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	中ポンプ場			
所在(町名・番地)	中区中央二丁目3-1			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	中部処理区から流入する汚水を南ポンプ場へ送水し、降雨時には雨水ポンプを運転し市内の冠水を防ぐ。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~			
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	1,448.70	土地面積 4,068.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		うち所有面積 4,068.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1966/11/1		
	経過年数(主要建物)	56		
用途地域	近隣商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	41,687	41,687	39,220
	維持補修費(修繕費)	0	10,392	0
	物件費(光熱水費)	78	68	68
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	41,765	52,147	39,288	
行政コスト(B-A)		41,765	52,147	39,288
収支前年比		80.09	132.73	97.59
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	令和3年度 公共下水道事業 修繕費3号 中ポンプ場改修費(雨水ポンプ工事)	10,392			
2021	令和3年度 公共下水道事業 改良費1号 中ポンプ場改修費(雨水ポンプ工事)	4,950			
2007	耐震補強工事	61,917			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-036	木戸雨水ポンプ場	—	0.6
26-003	北ポンプ場	—	0.9
26-006	東雨水ポンプ場	—	1.6
26-005	南ポンプ場	—	1.6
同分類			
15-023	東小学校	生活	0.1
14-030	浜松第2分団	コミュニティ	0.2
01-005	地域情報センター	市域	0.4
19-004	観光バス公共駐車場	地域	0.4
11-003	子育て情報センター	市域	0.4
08-009	なのはな保育園	生活	0.4
13-001	イーステージ浜松団地	地域	0.4
13-096	イーステージ浜松団地(特公賃)	地域	0.4
その他の分類			



基本情報	リストNo	26-002	施設コード	40002	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	中ポンプ場		施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		中部処理区から流入する汚水を南ポンプ場へ送水し、降雨時には雨水ポンプを運転し市内の冠水を防ぐ。					
		主な業務内容	雨水排水及び汚水の送水				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		近年、ゲリラ豪雨や台風の巨大化に伴い短時間での雨量が増加傾向にあるため必要不可欠と思われる。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も、異常気象によりゲリラ豪雨や、台風の増加が見込まれるため、さらに重要な施設となる。				
	特記事項		施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より40年以上たっており、施設全体が老朽化している。ポンプ場機械設備において耐用年数を経過し老朽化した機器が多く、今後故障が多くなると予想される。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
民間移管		—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—		
民活導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	28,829	35,996	27,119	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) 利用状況等による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-003	施設コード	40003	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	北ポンプ場			
所在(町名・番地)	中区船越町28-8			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	中部処理区から流入する汚水を南ポンプ場へ送水し、降雨時には雨水ポンプを運転し市内の冠水を防ぐ。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~			
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	3,436.70	土地面積 5,351.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		うち所有面積 5,351.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1972/5/1		
	経過年数(主要建物)	50		代表地目(現況地目)
用途地域	第二種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	41,985	40,352	37,965
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	41,985	40,352	37,965	
行政コスト(B-A)		41,985	40,352	37,965
収支前年比		104.05	106.29	95.22
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	令和元年度 公共下水道事業 修繕第7号 北ポンプ場天井天井シーリング修繕工事	7,193			
2019	令和元年度 公共下水道事業 修繕第11号 北ポンプ場機器取付け修繕工事	5,200			
2017	平成29年度 公共下水道事業 修繕第3号 北ポンプ場機器取付け修繕工事	21,577			
2007	耐震補強工事	150,150			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-002	中ポンプ場	—	0.9
26-036	木戸雨水ポンプ場	—	1.1
同分類			
その他の分類			
15-005	船越小学校	生活	0.3
07-008	さとう放課後児童会	生活	0.3
15-003	佐藤小学校	生活	0.3
07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.3
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	0.4
03-003	勤労青少年ホーム	市域	0.4
24-002	茄子揚水機場	—	0.4
15-106	八幡中学校	生活	0.5



基本情報	リストNo	26-003	施設コード	40003	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	北ポンプ場		施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		中部処理区から流入する汚水を南ポンプ場へ送水し、降雨時には雨水ポンプを運転し市内の冠水を防ぐ。					
		主な業務内容	雨水排水及び汚水の送水				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		近年、ゲリラ豪雨や台風の巨大化に伴い短時間での雨量が増加傾向にあるため必要不可欠と思われる。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も、異常気象によりゲリラ豪雨や、台風の増加が見込まれるため、さらに重要な施設となる。				
	特記事項		施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	事業③	—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
—	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より40年以上たっており、施設全体が老朽化している。ポンプ場機械設備において耐用年数を経過し老朽化した機器が多く、今後故障が多くなると予想される。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
民間移管		—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—		
民活導入	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	12,217	11,741	11,047	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。							
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-004	施設コード	40004
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	西ポンプ場		
所在(町名・番地)	中区西伊場町52-10		
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	西ポンプ場に流入してくる汚水を中部浄化センターへ送水する。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~		
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	1,062.81	土地面積 1,635.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1975/5/1	
	経過年数(主要建物)	47	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	36	135	46
	収入計(A)	36	135	46
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,258	1,858	1,184
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,258	1,858	1,184	
行政コスト(B-A)		1,222	1,723	1,138
収支前年比		70.92	151.41	50.71
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2016	屋上防水工事	9,890			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
26-007	御前谷ポンプ場	—	1.5	
06-003	西図書館	地域	0.0	
04-061	伊場遺跡	文化財	0.8	
07-004	かものご放課後児童会	生活	0.8	
15-014	鴨江小学校	生活	0.8	
03-049	可美協働センター	生活	1.0	
15-016	佐鳴台小学校	生活	1.0	
14-063	浜松第41分団	コミュニティ	1.0	
15-099	佐鳴台中学校	生活	1.0	



基本情報	リストNo	26-004	施設コード	40004	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			
	施設名	西ポンプ場			施設	上下水道部下水道施設課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		西ポンプ場に流入してくる汚水を中部浄化センターへ送水する。								
		主な業務内容	汚水の送水							
		主な利用者	—							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。						
	特記事項			施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業③		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
	—	2022	—	—	—	—				
事業④	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より40年以上たっており、施設全体が老朽化している。ポンプ場機械設備において耐用年数を経過し老朽化した機器が多く、今後故障が多くなると予想される。								
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
代替サービス		—	—	—	—					
民生導入	—	—	—	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,150	1,621	1,071	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。							
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	民生導入	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
		2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-005	施設コード	40005
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	南ポンプ場		
所在(町名・番地)	中区龍禅寺町863		
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	中部処理区から流入する汚水を中部浄化センターへ送水し、降雨時には雨水ポンプを運転し市内の冠水を防ぐ。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~		
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	2,177.27	土地面積 3,395.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1966/10/1	
	経過年数(主要建物)	56	
用途地域	近隣商業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	16	12	45
	収入計(A)	16	12	45
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	40,381	40,381	37,991
	維持補修費(修繕費)	54	0	3,300
	物件費(光熱水費)	59	54	55
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	40,494	40,435	41,346	
行政コスト(B-A)		40,478	40,423	41,301
収支前年比		100.14	97.87	107.75
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	令和2年度 公共下水道事業 修繕第1号 南ポンプ場及南クリーン修繕工事	3,300			
2019	沈砂池棟屋上防水改修工事	4,780			
2015	屋上防水工事	11,534			
2000	耐震補強工事	84,420			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-006	東雨水ポンプ場	—	0.7
26-036	木戸雨水ポンプ場	—	1.3
26-001	中部浄化センター	—	1.4
26-002	中ポンプ場	—	1.6
08-008	南保育園	生活	0.2
03-029	南部協働センター	生活	0.3
06-004	南図書館	地域	0.3
15-105	南部中学校	生活	0.4
15-007	双葉小学校	生活	0.5
07-013	こだま放課後児童会	生活	0.5
08-006	寺島保育園	生活	0.6
15-009	竜禅寺小学校	生活	0.6



基本情報	リストNo	26-005	施設コード	40005	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	南ポンプ場		施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		中部処理区から流入する汚水を中部浄化センターへ送水し、降雨時には雨水ポンプを運転し市内の冠水を防ぐ。					
		主な業務内容	雨水排水及び汚水の送水				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		近年、ゲリラ豪雨や台風の巨大化に伴い短時間での雨量が増加傾向にあるため必要不可欠と思われる。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も、異常気象によりゲリラ豪雨や、台風の増加が見込まれるため、さらに重要な施設となる。				
	特記事項		施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			のべ募集人員		参加者数		
事業②	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		のべ募集人員		参加者数			
事業③	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		のべ募集人員		参加者数			
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		のべ募集人員		参加者数			
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より40年以上たっており、施設全体が老朽化している。ポンプ場機械設備において耐用年数を経過し老朽化した機器が多く、今後故障が多くなると予想される。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
民間移管		—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	18,591	18,566	18,969	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性	（縦軸）利用状況		（横軸）前年収支比率		（縦軸）前年収支比率		（横軸）市負担額1㎡あたり等による評価	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。							
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	—
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-006	施設コード	40006	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	東雨水ポンプ場			
所在(町名・番地)	中区中島四丁目1-5			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘	
	施設	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘	
設置根拠(法)	都市計画法、下水道法、地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	240.00	土地面積 1,383.32	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積 1,383.32
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1968/8/1		
	経過年数(主要建物)	54		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	3,531	1,807	1,738
	物件費(光熱水費)	2,382	1,876	2,205
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	5,913	3,683	3,943	
行政コスト(B-A)		5,913	3,683	3,943
収支前年比		160.55	93.41	177.45
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2016	雨水ポンプ改築工事	110,160	2013	雨水ポンプ設備改築工事	66,150
2016	雨水ポンプ改築工事	146,542	2013	電気設備改築工事	13,850
2015	沈砂池設備改築工事	216,000			
2014	自家発電設備設置工事	73,283			
2014	雨水ポンプ改築工事	129,168			
2013	電気棟建築工事	59,590			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-005	南ポンプ場	—	0.7
26-036	木戸雨水ポンプ場	—	1.0
26-002	中ポンプ場	—	1.6
26-001	中部浄化センター	—	1.8
26-037	参野雨水ポンプ場	—	1.9
その他の分類			
15-009	竜禅寺小学校	生活	0.2
08-006	寺島保育園	生活	0.3
01-011	南土木整備事務所	地域	0.4
15-105	南部中学校	生活	0.7
14-033	浜松第5分団	コミュニティ	0.7
15-022	相生小学校	生活	0.8
08-008	南保育園	生活	0.9
04-008	浜松科学館	市域	0.9



基本情報	リストNo	26-006	施設コード	40006	所管課	本庁	上下水道部下水道工事課			
	施設名	東雨水ポンプ場			施設	上下水道部下水道工事課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。								
		主な業務内容	降雨時における内水排除							
		主な利用者	—							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			想定を超える豪雨等の発生により、浸水被害の軽減は社会ニーズが高まっている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			想定を超える豪雨等は増加傾向にあり、今後も高い社会ニーズが予測される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数			
			2021	—	—	—	—			
			2020	—	—	—	—			
事業②		—	2022	—	—	—	—			
			2021	—	—	—	—			
事業③		—	2022	—	—	—	—			
	2021		—	—	—	—				
事業④	—	2022	—	—	—	—				
		2021	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化が進んでおり、限られた予算の中で適切に維持更新する必要がある。								
	対応策	施設の適正な維持管理を実施する。 ストックマネジメント計画を策定し、予防保全型の維持管理と効率的な改築を実施する。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	施設の運転管理に係る業務を委託している。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	24,638	15,346	16,429	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める									

リストNo	26-007	施設コード	40007	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	御前谷ポンプ場			
所在(町名・番地)	中区佐鳴台六丁目6-1			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	御前谷ポンプ場へ流入してくる汚水を西ポンプ場へ送水する。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~			
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	588.01	土地面積 1,200.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1975/6/1		
	経過年数(主要建物)	47		
用途地域	第一種低層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,290	1,290	1,214
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,290	1,290	1,214	
行政コスト(B-A)		1,290	1,290	1,214
収支前年比		100.00	106.26	76.30
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-004	西ポンプ場	—	1.5
08-005	佐鳴台保育園	生活	0.4
07-009	さなる放課後児童会	生活	0.5
15-016	佐鳴台小学校	生活	0.5
15-099	佐鳴台中学校	生活	0.5
03-026	佐鳴台協働センター	生活	0.6
16-001	看護専門学校	市域	0.7
04-010	博物館	市域	0.9
04-034	蛸塚遺跡	文化財	0.9



基本情報	リストNo	26-007	施設コード	40007	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			
	施設名	御前谷ポンプ場			施設	上下水道部下水道施設課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		御前谷ポンプ場へ流入してくる汚水を西ポンプ場へ送水する。								
		主な業務内容	汚水の送水							
		主な利用者	—							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。					
	特記事項				施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—		2022	—	のべ募集人員	参加者数	—		
		—		2021	—	—	—	—		
		—		2020	—	—	—	—		
		—		2022	—	—	—	—		
事業②		—		2021	—	—	—	—		
		—		2020	—	—	—	—		
		—		2022	—	—	—	—		
		—		2021	—	—	—	—		
事業③		—		2020	—	—	—	—		
	—		2022	—	—	—	—			
	—		2021	—	—	—	—			
	—		2020	—	—	—	—			
事業④	—		2022	—	—	—	—			
	—		2021	—	—	—	—			
	—		2020	—	—	—	—			
	—		2022	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より40年以上たっており、施設全体が老朽化している。ポンプ場機械設備において耐用年数を経過し老朽化した機器が多く、今後故障が多くなると予想される。								
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	民生活導入	複合化	—	—	—	—				
		広域化	—	—	—	—				

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,194	2,194	2,065	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-008	施設コード	40008
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	上島雨水ポンプ場		
所在(町名・番地)	中区上島三丁目16-1		
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	上島雨水ポンプ場に流入する雨水を馬込川へ放流し市内の冠水を防ぐ。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~		
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	1,821.59	土地面積 3,316.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1988/4/1	
	経過年数(主要建物)	35	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



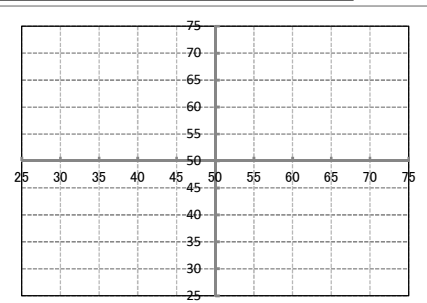
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	1
	収入計(A)	1	1	1
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	25,512	27,519	37,173
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	25,512	27,519	37,173	
行政コスト(B-A)		25,511	27,518	37,172
収支前年比		92.71	74.03	99.75
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
07-003	かみじま放課後児童会	生活	0.8	
15-017	上島小学校	生活	0.8	
11-010	家内労働福祉センター	地域	0.9	
14-035	浜松第9分団	コミュニティ	1.2	
15-101	曳馬中学校	生活	1.2	
03-085	小池会館	コミュニティ	1.4	
17-001	四ツ池公園	地域	1.5	
03-030	曳馬協働センター	生活	1.5	



基本情報	リストNo	26-008	施設コード	40008	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			
	施設名	上島雨水ポンプ場			施設	上下水道部下水道施設課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		上島雨水ポンプ場に流入する雨水を馬込川へ放流し市内の冠水を防ぐ。								
		主な業務内容	雨水排水							
		主な利用者	—							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			近年、ゲリラ豪雨や台風の巨大化に伴い短時間での雨量が増加傾向にあるため必要不可欠と思われる。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も、異常気象によりゲリラ豪雨や、台風の増加が見込まれるため、さらに重要な施設となる。						
	特記事項			施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—		2022	—	のべ募集人員	参加者数	—		
		—		2021	—	—	—	—		
		—		2020	—	—	—	—		
		—		2022	—	—	—	—		
事業②		—		2021	—	—	—	—		
		—		2020	—	—	—	—		
		—		2022	—	—	—	—		
		—		2021	—	—	—	—		
事業③		—		2020	—	—	—	—		
	—		2022	—	—	—	—			
	—		2021	—	—	—	—			
	—		2020	—	—	—	—			
事業④	—		2022	—	—	—	—			
	—		2021	—	—	—	—			
	—		2020	—	—	—	—			
	—		2022	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より30年以上たっており、施設全体が老朽化している。								
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	—									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	14,005	15,107	20,406	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) 利用状況等による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。				一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。			
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

施設カルテ 2023

リストNo	26-009	施設コード	40009		
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水				
施設名	西ヶ崎中継ポンプ場				
所在(町名・番地)	西区雄踏町宇布見8995-3				
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	—		
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳		
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳		
設置根拠(法)	地方公営企業法				
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的	西ヶ崎中継ポンプ場に流入してくる汚水を浜名中継ポンプ場に送水する。				
主な利用者	—				
運営形態	施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~				
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー				
開館時間	—				
建物情報	総延床面積	121.59	土地面積	土地情報	126.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			
	地上階数(主要建物)	1	うち借地面積		0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1994/4/1			
	経過年数(主要建物)	29			
用途地域	第二種中高層住居専用地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
	—	—	—		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—		
特記事項	—				



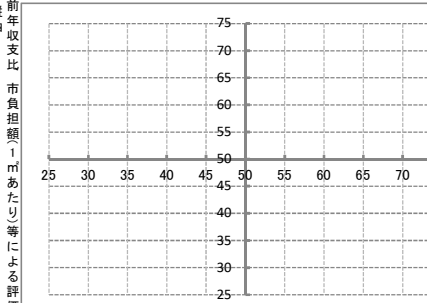
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	0	0
	収入計(A)	1	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,357	1,666	1,229
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,357	1,666	1,229	
行政コスト(B-A)	1,356	1,666	1,229	
収支前年比	81.39	135.56	84.41	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	2号汚水ポンプ取替改良工事	7,447			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	14-057	浜松第46分団	コミュニティ	0.5
	14-055	浜松第45分団	コミュニティ	0.5
	06-009	雄踏図書館	地域	0.7
	07-034	雄踏なかよし第1放課後児童会	生活	0.7
	15-047	雄踏小学校	生活	0.7
	05-009	雄踏総合体育館	地域	0.7
	08-038	雄踏幼稚園	生活	0.8
	03-011	雄踏文化センター	地域	0.8



基本情報	リストNo	26-009	施設コード	40009	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	西ヶ崎中継ポンプ場		施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		西ヶ崎中継ポンプ場に流入してくる汚水を浜名中継ポンプ場に送水する。					
		主な業務内容	汚水の送水				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。						
	特記事項 施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。						
	主要事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場機械設備が建設当時の物が多く老朽化しており、今後故障が多くなると予想される。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	民生活導入	複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	11,152	13,702	10,108	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。							
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-010	施設コード	40010	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	村櫛中継ポンプ場			
所在(町名・番地)	西区村櫛町3805-3			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	村櫛中継ポンプ場に流入してくる汚水を館山寺浄化センターへ送水する。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2018/04/01 ~			
管理者名	水KingAM(株)			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	93.75	土地面積 130.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1992/5/1		
	経過年数(主要建物)	30		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	6,920	6,920	9,389
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	6,920	6,920	9,389	
行政コスト(B-A)		6,920	6,920	9,389
収支前年比		100.00	73.70	100.91
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
15-040	村櫛小学校	生活	0.4	
03-094	村櫛会館	コミュニティ	0.4	
14-053	浜松第40分団	コミュニティ	0.5	
08-035	村櫛幼稚園	生活	0.5	
24-021	和田排水機場	—	1.4	



基本情報	リストNo	26-010	施設コード	40010	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	村櫛中継ポンプ場			施設	施設	上下水道部下水道施設課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		村櫛中継ポンプ場に流入してくる汚水を館山寺浄化センターへ送水する。					
		主な業務内容	汚水の送水				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。			
	特記事項			施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
2020	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設後27年が経過し、改修が必要である。					
	対応策	H30年度に設備改築の実施設計を行った。R1、R2年度で改築工事を実施中である。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	73,813	73,813	100,149	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸） 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-011	施設コード	40011	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農集集落排水			
施設名	湖東浄化センター			
所在(町名・番地)	西区湖東町1100			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	湖東処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2018/04/01 ~			
管理者名	水KingAM(株)			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	3,035.60	土地面積 12,293.38	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積 12,293.38
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1982/9/1		
	経過年数(主要建物)	40		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2	2	2
	収入計(A)	2	2	2
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	30,532	30,532	36,390
	維持補修費(修繕費)	0	0	3,740
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	30,532	30,532	40,130
行政コスト(B-A)		30,530	30,530	40,128
収支前年比		100.00	76.08	110.12
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-035	和地中継ポンプ場	—	0.9
13-039	湖東団地	地域	0.2
03-089	湖東西会館	コミュニティ	0.4
07-035	わじ第1放課後児童会	生活	0.6
03-040	和地協働センター	生活	0.6
15-048	和地小学校	生活	0.7
14-050	浜松第37分団	コミュニティ	0.7
15-119	湖東中学校	生活	0.8
08-040	和地幼稚園	生活	0.8



基本情報	リストNo	26-011	施設コード	40011	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	湖東浄化センター				施設	上下水道部下水道施設課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		湖東処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。					
		主な業務内容	汚水処理				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。		
		特記事項					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
		事業①	—	2022	—	—	—
2021				—	—	—	
2020				—	—	—	
2020				—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	処理場建設後37年が経過し、将来的に改修が必要である。					
	対応策	R6ポンプ場化。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	○	—	—	R6ポンプ場化による西遠処理区への統合。			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	10,057	10,057	13,219	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo	26-012	施設コード	40012	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	館山寺浄化センター			
所在(町名・番地)	西区庄内町14-7			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	館山寺処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2018/04/01 ~			
管理者名	水KingAM(株)			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	2,916.72	土地面積 28,491.00 うち所有面積 28,491.00 うち借地面積 0.00 代表地目(現況地目) 雑種地	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1987/7/1		
	経過年数(主要建物)	35		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	1
	収入計(A)	1	1	1
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	70,128	70,128	83,582
	維持補修費(修繕費)	0	6,270	44,418
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	70,128	76,398	128,000	
行政コスト(B-A)		70,127	76,397	127,999
収支前年比		91.79	59.69	157.54
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	令和2年度 公共下水道事業 建設費(館山寺浄化センター施設改修工事)	6,270			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
03-041	庄内協働センター	生活	0.1	
14-014	西消防署庄内出張所	地域	0.2	
15-116	庄内学園(庄内小学校・中学校)	生活	0.3	
07-038	庄内学園放課後児童会	生活	0.3	
04-019	館山寺ターミナル事務所	地域	1.1	
04-045	館山寺門前広場・門前通り公共駐車場	小規模等	1.3	
18-064	旧北庄内小学校	地域	1.8	
14-052	浜松第39分団	コミュニティ	1.9	



基本情報	リストNo	26-012	施設コード	40012	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	館山寺浄化センター			施設	本庁	上下水道部下水道施設課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		館山寺処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。					
		主な業務内容	汚水処理				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか <small>下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。</small>						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 <small>今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。</small>						
	特記事項 <small>施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。</small>						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	処理場建設後32年が経過し、将来的に改修が必要である。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	24,043	26,193	43,885	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-013	施設コード	40013	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	腫ヶ丘中継ポンプ場			
所在(町名・番地)	西区古人見町1538-84			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	腫ヶ丘中継ポンプ場に流入する汚水を浜名中継ポンプ場に送水する。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~			
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	816.00	土地面積 4,700.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積 4,700.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1978/4/1		
	経過年数(主要建物)	45		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	102
	収入計(A)	1	1	102
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	2,062	2,083	2,313
	維持補修費(修繕費)	0	10,780	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	2,062	12,863	2,313	
行政コスト(B-A)		2,061	12,862	2,211
収支前年比		16.02	581.73	91.78
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2021	下水道部下水道事業 施設維持 腫ヶ丘中継ポンプ場のポンプ修繕工事	10,780			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
13-035	腫ヶ丘団地	地域	0.3
24-011	佐浜第2排水機場	—	0.9
24-010	佐浜第1排水機場	—	1.2
03-090	佐浜会館	コミュニティ	1.2
06-010	はまゆう図書館	地域	1.5
24-009	古人見排水機場	—	1.6
07-036	伊佐見放課後児童会	生活	1.8
14-049	浜松第36分団	コミュニティ	1.8



基本情報	リストNo	26-013	施設コード	40013	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			
	施設名	腫ヶ丘中継ポンプ場			施設	上下水道部下水道施設課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		腫ヶ丘中継ポンプ場に流入する汚水を浜名中継ポンプ場に送水する。								
		主な業務内容	汚水の送水							
		主な利用者	—							
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測								
		特記事項								
		—								
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
	事業②	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
—		2021	—	—	—	—				
—		2020	—	—	—	—				
事業④	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	—									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,526	15,762	2,710	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-014	施設コード	40014
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	弁天島中継ポンプ場		
所在(町名・番地)	西区舞阪町弁天島2669-199		
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	弁天島中継ポンプ場に流入する汚水を浜名中継ポンプ場へ送水する。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~		
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	45.00	土地面積 250.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1990/4/1	
	経過年数(主要建物)	33	
用途地域	商業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	0
	収入計(A)	1	1	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,325	1,325	1,199
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,325	1,325	1,199	
行政コスト(B-A)		1,324	1,324	1,199
収支前年比		100.00	110.43	80.52
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-015	蓬萊園中継ポンプ場	—	0.4
26-016	観月園中継ポンプ場	—	1.1
01-015	舞阪協働センター	地域	0.2
18-004	舞阪コミュニティ防災センター	地域	0.4
14-054	浜松第43分団車庫	コミュニティ	0.4
10-009	ふれあい交流センター陽だまり	地域	0.4
04-046	弁天島駅観光案内所	小規模等	0.5
13-036	蓬萊園団地	地域	0.5
04-037	舞坂宿脇本陣	文化財	0.5
12-007	水産物荷捌所	小規模等	0.5



基本情報	リストNo	26-014	施設コード	40014	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	弁天島中継ポンプ場			施設	下水道部下水道施設課	上下水道部下水道施設課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		弁天島中継ポンプ場に流入する汚水を浜名中継ポンプ場へ送水する。					
		主な業務内容	汚水の送水				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。			
	特記事項			施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場機械設備が建設当時の物が多く老朽化しており、今後故障が多くなると予想される。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	民生活導入	複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	29,422	29,422	26,644	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-015	施設コード	40015
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	蓬萊園中継ポンプ場		
所在(町名・番地)	西区舞阪町弁天島2730-2		
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	蓬萊園中継ポンプ場に流入する汚水を弁天島汚水中継ポンプ場へ送水する。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~		
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	65.00	土地面積 368.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1990/4/1	
	経過年数(主要建物)	33	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,325	1,714	1,199
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,325	1,714	1,199	
行政コスト(B-A)		1,325	1,714	1,199
収支前年比		77.30	142.95	54.65
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
26-014	弁天島中継ポンプ場	—	0.4	
26-016	観月園中継ポンプ場	—	0.7	
その他の分類	10-009	ふれあい交流センター陽だまり	地域	0.2
	13-036	蓬萊園団地	地域	0.2
	08-015	舞阪第1保育園	生活	0.2
	10-022	舞阪高齢者福祉施設	コミュニティ	0.3
	04-046	弁天島駅観光案内所	小規模等	0.3
	01-015	舞阪協働センター	地域	0.5
	18-004	舞阪コミュニティ防災センター	地域	0.6
	04-017	渚園	地域	0.7



基本情報	リストNo	26-015	施設コード	40015	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			
	施設名	蓬萊園中継ポンプ場			施設	上下水道部下水道施設課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		蓬萊園中継ポンプ場に流入する汚水を弁天島汚水中継ポンプ場へ送水する。								
		主な業務内容	汚水の送水							
		主な利用者	—							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。						
	特記事項			施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	—	—				
		—	2021	—	—	—				
		—	2020	—	—	—				
事業②		—	2022	—	—	—				
		—	2021	—	—	—				
		—	2020	—	—	—				
事業③		—	2022	—	—	—				
		—	2021	—	—	—				
		—	2020	—	—	—				
事業④	—	2022	—	—	—					
	—	2021	—	—	—					
	—	2020	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場機械設備が建設当時の物が多く老朽化しており、今後故障が多くなると予想される。								
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	民生活導入	複合化	—	—	—	—				
		広域化	—	—	—	—				

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	20,385	26,369	18,446	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo	26-016	施設コード	40016
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	観月園中継ポンプ場		
所在(町名・番地)	西区舞阪町弁天島3257-1		
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	観月園中継ポンプに流入する汚水を蓬萊園中継ポンプ場へ送水する。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~		
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	58.00	土地面積 252.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1990/4/1	
	経過年数(主要建物)	33	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,325	1,325	1,366
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,325	1,325	1,366	
行政コスト(B-A)		1,325	1,325	1,366
収支前年比		100.00	97.00	114.89
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
26-015	蓬萊園中継ポンプ場	—	0.7	
26-014	弁天島中継ポンプ場	—	1.1	
同分類				
その他の分類	04-017	渚園	地域	0.5
	10-022	舞阪高齢者福祉施設	コミュニティ	0.5
	08-015	舞阪第1保育園	生活	0.5
	10-009	ふれあい交流センター陽だまり	地域	0.6
	13-036	蓬萊園団地	地域	0.7
	04-046	弁天島駅観光案内所	小規模等	0.7
	01-015	舞阪協働センター	地域	1.2
	18-004	舞阪コミュニティ防災センター	地域	1.4



基本情報	リストNo	26-016	施設コード	40016	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	親月園中継ポンプ場		施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		親月園中継ポンプに流入する汚水を蓬萊園中継ポンプ場へ送水する。					
		主な業務内容	汚水の送水				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測					
	特記事項	施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場機械設備が建設当時の物が多く老朽化しており今後故障が多くなると予想される。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	○	—	—	マンホールポンプ化が計画されている	
	民生活導入	複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	22,845	22,845	23,552	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-017	施設コード	40017
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	細江浄化センター		
所在(町名・番地)	北区細江町気賀4934-1		
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	細江処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2018/04/01 ~		
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	4,048.82	土地面積 13,779.53 うち所有面積 13,779.53 うち借地面積 0.00 代表地目(現況地目) -
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1999/4/1	
	経過年数(主要建物)	24	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	33,222	33,222	30,627
	維持補修費(修繕費)	0	0	3,960
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	33,222	33,222	34,587	
行政コスト(B-A)		33,222	33,222	34,587
収支前年比		100.00	96.05	122.52
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2015	耐震補強工事	33,484			
近隣施設					
No	施設名	圏域種別	距離(km)		
26-021	山後雨水ポンプ場	—	0.7		
その他の分類					
24-039	沖通り排水機場	—	1.0		
15-058	伊目小学校	生活	1.0		
07-048	伊目放課後児童クラブ	生活	1.0		
08-047	伊目幼稚園	生活	1.0		
04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	1.1		
04-024	気賀関所	地域	1.2		
10-014	細江介護予防センター	地域	1.2		
01-017	北区役所	地域	1.2		
施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	26-017	施設コード	40017	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	細江浄化センター			施設	本庁	上下水道部下水道施設課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		細江処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。					
		主な業務内容	汚水処理等				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。				
	特記事項		施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	処理場建設後20年経過しており、施設全体が老朽化している。機械設備の耐用年数が経過した物が多く老朽化しており今後故障が多くなると予想される。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	8,205	8,205	8,542	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。							
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-018	施設コード	40018	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	井伊谷浄化センター			
所在(町名・番地)	北区引佐町井伊谷2440-1			
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	井伊谷処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2018/04/01 ~			
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	3,638.55	土地面積 9,353.71	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		土地情報 うち所有面積 9,353.71 うち借地面積 0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1996/4/1		
経過年数(主要建物)	27	代表地目(現況地目)	—	
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	33,222	33,222	38,876
	維持補修費(修繕費)	0	0	3,520
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	33,222	33,222	42,396	
行政コスト(B-A)		33,222	33,222	42,396
収支前年比		100.00	78.36	149.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)		
		年度	内容	金額(千円)
2015	耐震補強工事	7,350		

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-020	金指汚水中継ポンプ場	—	1.0
13-052	坂田団地	地域	0.4
13-060	井伊谷団地	地域	0.4
25-013	谷津ポンプ場	—	0.5
07-052	井伊谷放課後児童クラブ	生活	0.6
08-048	引佐幼稚園	生活	0.6
15-060	金指小学校	生活	0.7
15-066	井伊谷小学校	生活	0.7
08-019	引佐保育園	生活	0.8



基本情報	リストNo	26-018	施設コード	40018	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	井伊谷浄化センター			施設	本庁	上下水道部下水道施設課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		井伊谷処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。					
		主な業務内容	汚水処理等				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。			
	特記事項			施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。			
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	処理場建設後23年経過しており、施設全体が老朽化している。機械設備の耐用年数が経過した物が多く老朽化しており今後故障が多くなると予想される。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
民生活導入	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	9,131	9,131	11,652	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。				一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。			
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。				一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。			
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-019	施設コード	40019	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	三ヶ日浄化センター			
所在(町名・番地)	北区三ヶ日町宇志1320-11			
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	三ヶ日処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2018/04/01 ~			
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	1,920.18	土地面積 25,573.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 25,573.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	2006/4/1		
	経過年数(主要建物)	17		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,906	1,943	1,982
	収入計(A)	1,906	1,943	1,982
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	27,804	27,804	26,138
	維持補修費(修繕費)	0	0	6,710
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	27,804	27,804	32,848	
行政コスト(B-A)		25,898	25,861	30,866
収支前年比		100.14	83.78	112.05
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
その他の分類	15-130	三ヶ日中学校	生活	0.2		
	05-042	三ヶ日運動場管理棟、トイレ	小規模等	0.2		
	18-065	旧三ヶ日保健センター別館	地域	0.3		
	01-018	三ヶ日協働センター	地域	0.4		
	03-013	三ヶ日文化ホール	地域	0.4		
	14-020	北消防署三ヶ日出張所	地域	0.4		
	14-081	三ヶ日第1分団	コミュニティ	0.7		
	08-020	三ヶ日保育園	生活	0.8		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	26-019	施設コード	40019	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	三ヶ日浄化センター			施設	本庁	上下水道部下水道施設課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		三ヶ日処理区から流入する汚水を浜名湖の水質環境の保全を目的に窒素とリンを同時除去する高度処理を行っている。					
		主な業務内容	汚水処理等				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。			
	特記事項			供用開始から10年経過して毎日の設備点検が重要となる。			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	処理場建設後13年経過しており、施設全体が老朽化しつつある。機械設備の故障が今後多くなると予想される。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	13,487	13,468	16,075	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) / 利用状況等による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。							
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-020	施設コード	40020
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	金指汚水中継ポンプ場		
所在(町名・番地)	北区引佐町金指1510-2		
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	金指汚水中継ポンプ場に流入してくる汚水を井伊谷浄化センターへ送水する。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2018/04/01 ~		
管理者名	(株)ウォーターエージェンシー		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	34.79	土地面積 700.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2000/4/1	
	経過年数(主要建物)	23	
用途地域	第二種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	0
	収入計(A)	1	1	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	792	792	792
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	792	792	792	
行政コスト(B-A)		791	791	792
収支前年比		100.00	99.87	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-018	井伊谷浄化センター	—	1.0
25-005	金指西水源	—	0.3
15-060	金指小学校	生活	0.5
07-054	金指放課後児童クラブ	生活	0.5
13-049	金指団地	地域	0.5
13-052	坂田団地	地域	0.7
05-040	細江総合グラウンド器具庫	小規模等	0.8
14-019	北消防署	地域	0.8
08-058	金指幼稚園	生活	0.8



基本情報	リストNo	26-020	施設コード	40020	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	金指汚水中継ポンプ場			施設	本庁	上下水道部下水道施設課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		金指汚水中継ポンプ場に流入してくる汚水を井伊谷浄化センターへ送水する。					
		主な業務内容	汚水の送水				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。			
	特記事項			施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場建設時より20年以上たっており、施設全体が老朽化しつつある。機械設備の故障が今後多くなると予想される。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	22,736	22,736	22,765	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。				一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。			
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。 具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-021	施設コード	40021
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	山後雨水ポンプ場		
所在(町名・番地)	北区細江町気賀1580-1		
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘
	施設	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘
設置根拠(法)	都市計画法、下水道法、地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	502.59	土地面積 2,799.53
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2009/4/1	
経過年数(主要建物)	14	代表地目(現況地目)	宅地
用途地域	第二種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	948	5,997	4,563
	物件費(光熱水費)	912	1,594	727
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,860	7,591	5,290	
行政コスト(B-A)		1,860	7,591	5,290
収支前年比		24.50	143.50	1299.75
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-017	細江浄化センター	—	0.7
08-053	中央幼稚園	生活	0.6
01-017	北区役所	地域	0.6
09-006	細江健康センター	地域	0.6
04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.6
04-024	気賀関所	地域	0.6
03-012	みをつくし文化センター	地域	0.6
06-015	細江図書館	地域	0.6
10-014	細江介護予防センター	地域	0.7



基本情報	リストNo	26-021	施設コード	40021	所管課	本庁	上下水道部下水道工事課
	施設名	山後雨水ポンプ場			施設	本庁	上下水道部下水道工事課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。					
		主な業務内容	降雨時における内水排除				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		想定を超える豪雨等の発生により、浸水被害の軽減は社会ニーズが高まっている。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測					
		想定を超える豪雨等は増加傾向にあり、今後も高い社会ニーズが予測される。					
主な事業	特記事項						
	事業名・開催回数(2022)						
	事業①	年度	2022	事業費(千円)	—	実施状況	—
			2021	—	—	—	—
			2020	—	—	—	—
			2022	—	—	—	—
	事業②	年度	2022	—	—	—	—
			2021	—	—	—	—
			2020	—	—	—	—
	事業③	年度	2022	—	—	—	—
		2021	—	—	—	—	
		2020	—	—	—	—	
事業④	年度	2022	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	
		2020	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	関連部署と連携した総合的な浸水対策を実施する。					
	対応策	土木部と連携し、施設の適正な維持管理、修繕を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
民活導入	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
記入欄	施設の運転管理に係る業務を委託している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	3,701	15,104	10,525	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める							

リストNo	26-022	施設コード	40022	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	気田浄化センター			
所在(町名・番地)	天竜区春野町宮川1383-4			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	気田処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と気田川の水質環境の保全を図る。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~			
管理者名	西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	740.00	土地面積 4,821.98	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		うち所有面積 4,821.98
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	2000/4/1		
	経過年数(主要建物)	23		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	22,624	22,738	20,895
	維持補修費(修繕費)	4,122	9,306	9,471
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	26,746	32,044	30,366	
行政コスト(B-A)		26,746	32,044	30,366
収支前年比		83.47	105.53	118.69
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	曝気装置用減速機(2-2号機)修繕工事	7,810	2018	曝気装置用減速機(1-2号機)修繕工事	6,912
2022	最終沈殿池汚泥掻き機駆動装置修繕工事	4,378	2017	遠心脱水機制御センサー修繕工事	6,458	
2022	汚泥濃縮槽攪拌機修繕工事	3,630	2016	インテリジェントプリンター修繕	3,780	
2021	曝気装置用減速機(2-1号機)修繕工事	7,172				
2019	最終沈殿池汚泥掻き機駆動装置修繕工事	3,520				
2019	曝気装置用減速機(1-1号機)修繕工事	6,600				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
21-007	春野斎場	地域	0.3
14-126	春野第3分団宮川	コミュニティ	0.4
04-029	白井鐵造記念館	地域	0.6
03-017	春野文化センター	地域	0.6
04-054	天狗下駄展示場	小規模等	0.6
14-026	天竜消防署春野出張所・防災センター	地域	0.6
01-025	春野協働センター	地域	0.6
10-019	春野福祉センター	地域	0.8



基本情報	リストNo	26-022	施設コード	40022	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	施設名	気田浄化センター			施設	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		気田処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と気田川の水質環境の保全を図る。					
		主な業務内容	汚水処理等				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。			
	特記事項			地域人口の減少			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	中山間地であることから、過疎化が進み高齢化世帯が増加していることから下水道への接続が鈍化し、下水道使用量が少なくなっている。今後、機械設備が老朽化し修繕や更新が必要となる。					
	対応策	計画的な更新計画を策定し、今後更新を進めていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
民生活導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	36,143	43,303	41,035	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	公共施設等総合管理計画より抜粋	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。							
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。 具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める									

リストNo	26-023	施設コード	40023
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	浦川浄化センター		
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町浦川3453		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	浦川処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と大干瀬川の水質環境の保全を図る。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~		
管理者名	西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	259.00	土地面積 3,463.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1996/4/12	
経過年数(主要建物)	27	うち所有面積 3,463.00	うち借地面積 0.00
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	19,449	19,547	19,725
	維持補修費(修繕費)	7,407	9,650	8,010
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	26,856	29,197	27,735	
行政コスト(B-A)		26,856	29,197	27,735
収支前年比		91.98	105.27	118.75
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	No.1-2曝気攪拌装置修繕工事	3,047			
2021	浦川浄化センター No.2-1曝気攪拌装置修繕工事	4,466			
2020	浦川浄化センター No.1-1曝気攪拌装置修繕工事	4,560			
2015	浦川浄化センター設備改築工事	37,584			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
26-027	農業集落排水上市場処理場	—	1.1	
同分類				
その他の分類				
15-085	浦川小学校	生活	0.4	
13-078	浦川団地	地域	0.6	
14-134	佐久間第1分団柏古瀬	コミュニティ	0.6	
22-012	浜松市国民健康保険佐久間病院附属浦川診療所	生活	0.6	
03-066	浦川ふれあいセンター	生活	0.7	
08-075	浦川幼稚園	生活	0.8	
05-031	佐久間瞑想館	地域	1.2	



基本情報	リストNo	26-023	施設コード	40023	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	施設名	浦川浄化センター			施設	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		浦川処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と大干瀬川の水質環境の保全を図る。					
		主な業務内容	汚水処理等				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。			
	特記事項			長寿命化対策を実施している。			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	現在長寿命化対策を実施しているが、長寿命化対象外設備については、計画的な更新が必要である。					
	対応策	長寿命化対策対象外設備について、計画的な更新を進める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	103,691	112,730	107,085	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。				一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。			
		今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める									

リストNo	26-024	施設コード	40024	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	佐久間浄化センター			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町半場278-20			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	佐久間処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と天竜川の水質環境の保全を図る。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~			
管理者名	西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	265.00	土地面積 4,899.61	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 4,899.61
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	2002/6/28		
	経過年数(主要建物)	20		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	19,336	19,433	18,026
	維持補修費(修繕費)	6,587	4,904	4,666
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	25,923	24,337	22,692	
行政コスト(B-A)		25,923	24,337	22,692
収支前年比		106.52	107.25	114.34
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	No.1-1曝気攪拌装置修繕工事	4,037			
2021	佐久間浄化センター No.2-1曝気攪拌装置修繕工事	4,466				
2018	No.2-2曝気攪拌装置修繕工事	4,201				
2017	No.1-2曝気攪拌装置修繕工事	2,862				
2016	No.1-1曝気攪拌装置修繕工事	2,696				
2015	No.2-1曝気攪拌装置修繕工事	4,050				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
13-086	半場団地	地域	0.2
15-092	佐久間小学校	生活	0.4
02-007	半場教職員住宅	地域	0.4
08-080	佐久間幼稚園	生活	0.4
03-105	佐久間協働センター体育館	地域	0.6
06-016	佐久間図書館	地域	0.6
14-028	天竜消防署佐久間出張所	地域	0.7
03-103	佐久間歴史と民話の郷会館・旧佐久間協働センター	地域	0.8



基本情報	リストNo	26-024	施設コード	40024	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	施設名	佐久間浄化センター			施設	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		佐久間処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と天竜川の水質環境の保全を図る。					
		主な業務内容	汚水処理等				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。				
	特記事項		設備の経年劣化が進行しているため、毎日の点検が重要となる。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	設備の経年劣化が進行しているため、計画的な更新・オーバーホールが必要である。					
	対応策	運転時間による設備ごとの劣化状況を踏まえ、更新・オーバーホールを計画的に進める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	97,823	91,838	85,630	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。				一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。			
		今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める									

リストNo	26-025	施設コード	40025	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	城西浄化センター			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町相月2227-2			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	城西処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と水窪川の水質環境の保全を図る。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~			
管理者名	西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	710.79	土地面積 4,026.98	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2008/4/1		
	経過年数(主要建物)	15		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	31,500	31,659	28,353
	維持補修費(修繕費)	3,626	4,651	5,540
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	35,126	36,310	33,893	
行政コスト(B-A)		35,126	36,310	33,893
収支前年比		96.74	107.13	99.83
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-037	旧相月簡易水道小相月ポンプ場	—	1.2
25-030	旧城西簡易水道	—	1.5
14-139	佐久間第2分団松島	コミュニティ	1.6
03-064	城西ふれあいセンター	生活	1.9
13-077	芋堀団地	地域	1.9



基本情報	リストNo	26-025	施設コード	40025	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	施設名	城西浄化センター			施設	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		城西処理区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と水窪川の水質環境の保全を図る。					
		主な業務内容	汚水処理等				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。						
	特記事項 膜が劣化しており、日頃の設備点検が重要となる。						
主要事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	事業②	—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	事業③	—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	膜分離活性汚泥法を採用しているため、膜の劣化による処理水の水質低下が懸念される。					
	対応策	・年2回の膜洗浄による膜の機能回復・長寿化計画による膜の更新・機器のオーバーホールによる運転効率のアップ					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	49,418	51,084	47,684	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
2民生活導入		(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める									

リストNo	26-026	施設コード	02042
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	都田地区農業集落排水処理施設		
所在(町名・番地)	北区都田町7150-1		
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市農業集落排水処理施設条例		
設置目的	都田地区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と都田川の水質環境の保全を図る。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~		
管理者名	西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	252.52	土地面積 1,927.15
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2000/1/6	
	経過年数(主要建物)	23	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	—	—
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	10,469	10,223	9,966
	維持補修費(修繕費)	7,929	2,992	1,845
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	18,398	13,215	11,811	
行政コスト(B-A)		18,398	13,215	11,811
収支前年比		139.22	111.89	109.18
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,139	1,139	1,139
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	85	15,989	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	No.2曝気攪拌装置修繕工事	6,886			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-034	都田中継ポンプ場	—	1.9
24-032	吉影排水機場	—	0.5
24-031	一色排水機場	—	0.6
15-063	都田小学校	生活	1.2
03-051	都田協働センター	生活	1.4
14-066	浜松第31分団	コミュニティ	1.6
17-007	都田総合公園	地域	1.8
15-132	都田中学校	生活	1.9



基本情報	リストNo	26-026	施設コード	02042	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	施設名	都田地区農業集落排水処理施設			施設	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		都田地区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と都田川の水質環境の保全を図る。					
		主な業務内容	汚水処理等				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 農業集落排水処理施設は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。						
	特記事項 施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	
—		2021	—	—	—		
—		2020	—	—	—		
—		2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	機械設備の標準耐用年数を経過した物が多く経年劣化が進んでおり、今後施設の修理や更新が多くなると予想される。					
	対応策	施設の状態を継続的に監視し、計画的に施設整備、更新を行い施設維持管理費の縮減を図る。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
民生活導入	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—		

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	72,858	52,332	46,773	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市農業集落排水施設最適整備構想に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	26-027	施設コード	02181	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	農業集落排水上市場処理場			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町浦川2322-2			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市農業集落排水処理施設条例			
設置目的	上市場地区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と相川の水質環境の保全を図る。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~			
管理者名	西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	69.00	土地面積 1,041.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 1,041.00
	建築年月日(主要建物)	1994/8/1		
	経過年数(主要建物)	28		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	—	—	
財源	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	—	—	
	一般財源	—	—	
特記事項	—			



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	5,042	4,917	4,831
	維持補修費(修繕費)	2,391	1,070	1,356
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	162	162	162
支出計(B)	7,595	6,149	6,349	
行政コスト(B-A)	7,595	6,149	6,349	
収支前年比	123.52	96.85	123.43	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	426	426	426	

利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	

BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	3,848	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-023	浦川浄化センター	—	1.1
05-031	佐久間瞑想館	地域	0.1
08-075	浦川幼稚園	生活	0.3
03-066	浦川ふれあいセンター	生活	0.4
13-078	浦川団地	地域	0.5
15-085	浦川小学校	生活	0.8
14-134	佐久間第1分団柏古瀬	コミュニティ	0.8
22-012	浜松市国民健康保険佐久間病院附属浦川診療所	生活	0.9
25-018	旧浦川簡易水道	—	1.3



基本情報	リストNo	26-027	施設コード	02181	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	施設名	農業集落排水上市場処理場			施設	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		上市場地区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と相川の水質環境の保全を図る。					
		主な業務内容	汚水処理等				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 農業集落排水処理施設は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。						
	特記事項 施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	機械設備の標準耐用年数を経過した物が多く経年劣化が進んでおり、今後施設の修理や更新が多くなると予想される。					
	対応策	施設の状態を継続的に監視し、計画的に施設整備、更新を行い施設維持管理費の縮減を図る。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	110,072	89,116	92,014	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。							
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市農業集落排水施設最適整備構想に基づき、適切な維持管理に努める									

施設カルテ 2023

リストNo	26-028	施設コード	02781	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	落合石神地区汚水処理場			
所在(町名・番地)	天竜区石神590-2			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市農業集落排水処理施設条例			
設置目的	落合、石神地区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と阿多古川の水質環境の保全を図る。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~			
管理者名	西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	238.85	土地面積	1,695.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1	うち所有面積	1,695.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—	代表地目(現況地目)	—
	建築年月日(主要建物)	2002/3/28		
経過年数(主要建物)	21			
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	13,085	12,413	11,718
	維持補修費(修繕費)	1,826	2,218	6,893
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	53	53	53
支出計(B)	14,964	14,684	18,664	
行政コスト(B-A)	14,964	14,684	18,664	
収支前年比	101.91	78.68	157.77	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	5,541	5,541	5,541	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	88,869	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-112	天竜第8分団石神	コミュニティ	0.1
25-033	旧西藤平簡易水道	—	1.1
03-060	上阿多古ふれあいセンター	生活	1.3
05-045	上阿多古運動場器具庫	小規模等	1.3
14-119	天竜第10分団東藤平	コミュニティ	1.4
08-081	上阿多古幼稚園	生活	1.4
15-093	上阿多古小学校	生活	1.5
14-117	天竜第10分団西藤平	コミュニティ	1.5

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	26-028	施設コード	02781	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	
	施設名	落合石神地区汚水処理場			施設	本庁	上下水道部天竜上下水道課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		落合、石神地区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と阿多古川の水質環境の保全を図る。						
		主な業務内容	汚水処理等					
		主な利用者	—					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 農業集落排水処理施設は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。							
	特記事項 施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
—		2021	—	—	—	—		
—		2020	—	—	—	—		
—		2022	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2022	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	機械設備の標準耐用年数を経過した物が多く経年劣化が進んでおり、今後施設の修理や更新が多くなると予想される。						
	対応策	最適整備構想の結果に基づき、計画的な施設の更新を実施し、施設の長寿命化及び維持管理費の節減を図っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
		複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	62,650	61,478	78,141	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
2民生活導入		(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
浜松市農業集落排水施設最適整備構想に基づき、適切な維持管理に努める									

リストNo	26-029	施設コード	02819
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	両島地区汚水処理場		
所在(町名・番地)	天竜区両島464-1		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市農業集落排水処理施設条例		
設置目的	両島、上野地区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と阿多古川の水質環境の保全を図る。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~		
管理者名	西原・WA・エステム特定業務委託共同企業体		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	162.92	土地面積 1,778.45
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1996/3/1	
	経過年数(主要建物)	27	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	7,967	7,440	7,428
	維持補修費(修繕費)	3,061	5,536	4,205
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	12	12	12
支出計(B)	11,040	12,988	11,645	
行政コスト(B-A)	11,040	12,988	11,645	
収支前年比	85.00	111.53	140.84	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	4,297	4,297	4,297	

利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	

BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	43,134	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

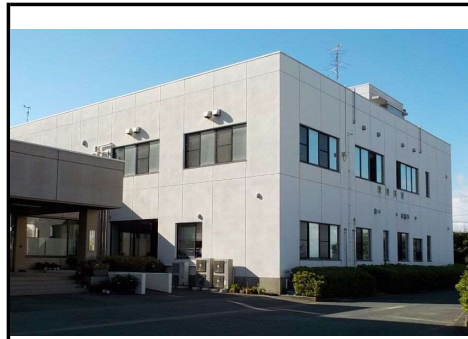
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
08-076	下阿多古幼稚園	生活	0.2
15-087	下阿多古小学校	生活	0.2
14-114	天竜第8分団両島	コミュニティ	0.3
14-113	天竜第8分団青谷	コミュニティ	0.5
03-061	下阿多古ふれあいセンター	生活	1.1
14-116	天竜第8分団米沢	コミュニティ	1.1
14-111	天竜第8分団上野	コミュニティ	1.3
25-045	旧両島簡易水道	—	1.3



基本情報	リストNo	26-029	施設コード	02819	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	施設名	両島地区汚水処理場		施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		両島、上野地区から流入する汚水を処理して、地域住民の生活環境の改善と阿多古川の水質環境の保全を図る。					
		主な業務内容	汚水処理等				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		農業集落排水処理施設は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるため必要な施設である。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠である。				
		特記事項	施設全体が老朽化しており、毎日の設備点検が重要となる。				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	機械設備の標準耐用年数を経過した物が多く経年劣化が進んでおり、今後施設の修理や更新が多くなると予想される。					
	対応策	最適整備構想の結果に基づき、計画的な施設の更新を実施し、施設の長寿命化及び維持管理費の節減を図っていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	67,763	79,720	71,477	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。</p> <p>一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。</p> <p>今後は、平成27年度に改定した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。</p> <p>農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市農業集落排水施設最適整備構想に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	26-031	施設コード	40026
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	西遠浄化センター		
所在(町名・番地)	南区松島町2552-1		
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	浜松市中心地を除く西遠処理区から流入する汚水を処理をすることにより、公共用水域の水質汚濁防止と市民生活環境の改善を図る。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2018/04/01 ~		
管理者名	浜松ウォーターシンフォニー(株)		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	96,785.89	土地面積 186,767.42
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1983/4/1	
	経過年数(主要建物)	40	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	101,250	101,250	101,250
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	45	43	36
	収入計(A)	101,295	101,293	101,286
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)	-101,295	-101,293	-101,286	
収支前年比	100.00	100.01	99.72	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2017	平成29年度 西遠浄化センター特高売電電・自家発電機修繕工事	43,200			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
24-040	五島東・河輪排水機場	—	0.4
07-040	遠州浜子育て支援ひろば	生活	1.5
15-057	南の星小学校	生活	1.6
08-045	南の星幼稚園	生活	1.6
07-044	南の星放課後児童会	生活	1.6
03-046	五島協働センター	生活	1.7



基本情報	リストNo	26-031	施設コード	40026	所管課	本庁	上下水道下水道施設課			
	施設名	西遠浄化センター			施設	上下水道下水道施設課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		浜松市中心地を除く西遠処理区から流入する汚水を処理をすることにより、公共用水域の水質汚濁防止と市民生活環境の改善を図る。								
		主な業務内容	下水及び発生汚泥の処理							
		主な利用者	—							
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		供用開始時より、処理水量の増加が続いていたが近年ほぼ横ばいとなっている。				中長期(今後10年程度)のニーズ予測				
		建設当時の施設や設備の一部に老朽化がみられ、毎日の設備点検が重要である。				今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
		事業①			2022	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—						
			2020	—						
			2022	—						
事業②				2021	—					
				2020	—					
		事業③			2022	—				
			2021	—						
			2020	—						
事業④			2022	—						
			2021	—						
			2020	—						
	施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	供用開始から約36年が経過し、施設や設備の一部に老朽化がみられるなど、今後故障や不具合が多くなると予想される。								
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—					
		民間移管	—	—	—					
		管理主体変更	—	—	—					
代替サービス		—	—	—						
統廃合		—	—	—						
民活導入	複合化	—	—	—						
	広域化	—	—	—						
	民活導入	平成28年度より2年間の包括委託期間を経て平成30年度から20年間の運営委託方式(コンセッション方式)を開始している。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	-1,047	-1,047	-1,046	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-032	施設コード	40027			
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水					
施設名	浜名中継ポンプ場					
所在(町名・番地)	南区小沢渡町1681					
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公用財産	—			
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳			
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳			
設置根拠(法)	地方公営企業法					
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例					
設置目的	浜名中継ポンプ場に流入する汚水を西遠浄化センターへ送水する。					
主な利用者	—					
運営形態	施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間	2018/04/01 ~					
管理者名	浜松ウォーターシンフォニー(株)					
開館時間	—					
建物情報	総延床面積	3,877.94	土地面積	3,748.00		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	3,748.00	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—		—		
	建築年月日(主要建物)	1997/3/31		—		—
	経過年数(主要建物)	26		—	—	
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—	—		
特記事項	—					



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2	2	1
	収入計(A)	2	2	1
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)	-2	-2	-1	
収支前年比	100.00	200.00	100.00	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

主な改修履歴

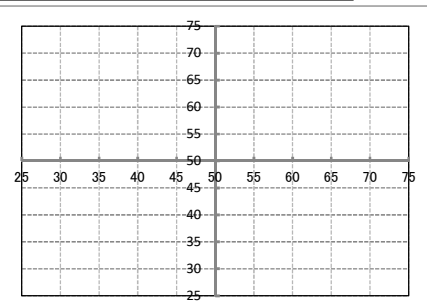
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
06-012	可新図書館	地域	0.5
13-045	小沢渡団地	地域	0.5
23-094	高塚駅南北自由通路	地域	1.1
05-004	古橋廣之進記念浜松市総合水泳場	広域	1.1
15-125	可美中学校	生活	1.2
24-013	篠原東排水機場	—	1.4
05-014	可美公園体育館、水泳場、弓道場	地域	1.4
08-041	可美幼稚園	生活	1.5

同分類

その他の分類

施設周辺地図情報			
			

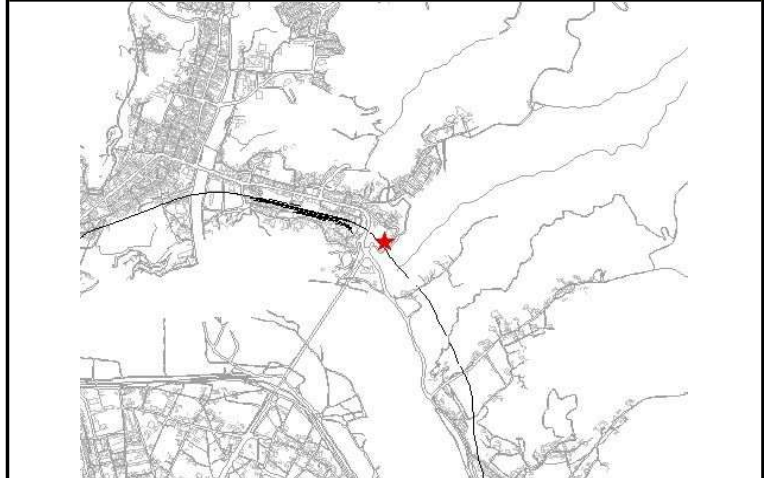
基本情報	リストNo	26-032	施設コード	40027	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	浜名中継ポンプ場			施設	本庁	上下水道部下水道施設課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		浜名中継ポンプ場に流入する汚水を西遠浄化センターへ送水する。					
		主な業務内容	汚水の送水				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。						
	特記事項 施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	供用開始から約25年が経過し、施設や設備の一部に老朽化がみられるなど、今後故障や不具合が多くなると予想される。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	民活導入	複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	
平成28年度より2年間の包括委託期間を経て、平成30年度から20年間の運営委託方式(コンセッション方式)を開始している。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	-1	-1	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。							
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-033	施設コード	40028	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	阿蔵中継ポンプ場			
所在(町名・番地)	天竜区二俣町阿蔵330-5			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	阿蔵中継ポンプ場に流入する汚水を西遠浄化センターへ送水する。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2018/04/01 ~			
管理者名	浜松ウォーターシンフォニー(株)			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	1,175.11	土地面積 589.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積 589.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	2000/3/27		
	経過年数(主要建物)	23		
用途地域	準住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)	0	0	0	
収支前年比	—	—	—	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
その他の分類	05-028	天竜B&G海洋センター	地域	0.0		
	13-084	天神団地	地域	0.4		
	03-016	天竜壬生ホール	地域	0.8		
	04-012	秋野不矩美術館	市域	0.9		
	08-082	二俣幼稚園	生活	1.0		
	03-058	二俣協働センター	生活	1.0		
	21-005	天竜斎場	地域	1.0		
13-085	田組西団地	地域	1.1			
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	26-033	施設コード	40028	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課
	施設名	阿蔵中継ポンプ場		施設	上下水道部下水道施設課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		阿蔵中継ポンプ場に流入する汚水を西遠浄化センターへ送水する。					
		主な業務内容	汚水の送水				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。						
	特記事項 施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	供用開始から約21年が経過し、施設や設備の一部に老朽化がみられるなど、今後故障や不具合が多くなると予想される。					
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	民活導入	複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	
平成28年度より2年間の包括委託期間を経て、平成30年度から20年間の運営委託方式(コンセッション方式)を開始している。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
2民活導入		(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-034	施設コード	40029
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	都田中継ポンプ場		
所在(町名・番地)	北区新都田一丁目3-5		
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	—
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	都田中継ポンプ場へ流入する汚水を西遠浄化センターへ送水する。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~		
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	422.80	土地面積 2,357.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1991/4/1	
	経過年数(主要建物)	32	
用途地域	工業専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,437	1,437	1,301
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,437	1,437	1,301	
行政コスト(B-A)		1,437	1,437	1,301
収支前年比		100.00	110.45	100.93
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-026	都田地区農業集落排水処理施設	—	1.9
17-007	都田総合公園	地域	0.3
03-106	市民音楽ホール	市域	0.7
01-031	新都田市民サービスセンター	生活	0.9
15-072	都田南小学校	生活	1.0
06-018	都田図書館	地域	1.0
07-051	ひばり放課後児童会	生活	1.1
14-066	浜松第31分団	コミュニティ	1.3
03-051	都田協働センター	生活	1.4



基本情報	リストNo	26-034	施設コード	40029	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			
	施設名	都田中継ポンプ場			施設	上下水道部下水道施設課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		都田中継ポンプ場へ流入する汚水を西遠浄化センターへ送水する。								
		主な業務内容	汚水の送水							
		主な利用者	—							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も快適な生活を続けていくには必要不可欠な施設である。						
	特記事項			施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業③		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
	—	2022	—	—	—	—				
事業④	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場機械設備が建設当時の物が多く老朽化しており今後故障が多くなると予想される。								
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民生活導入	—									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	3,399	3,399	3,077	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。								

リストNo	26-035	施設コード	40030	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	和地中継ポンプ場			
所在(町名・番地)	西区桜台三丁目25-1			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
	施設	上下水道部下水道施設課	課長名 鈴木 克巳	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	和地中継ポンプ場に流入する汚水を西遠浄化センターへ送水する。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~			
管理者名	(株)ウオーターエージェンシー			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	355.76	土地面積 1,262.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 1,262.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	2001/4/1		
	経過年数(主要建物)	22		
用途地域	第一種低層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	1
	収入計(A)	1	1	1
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,351	1,351	1,223
	維持補修費(修繕費)	0	0	106
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,351	1,351	1,329	
行政コスト(B-A)		1,350	1,350	1,328
収支前年比		100.00	101.66	109.66
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
26-011	湖東浄化センター	—	0.9	
15-048	和地小学校	生活	0.2	
03-040	和地協働センター	生活	0.3	
07-035	わじ第1放課後児童会	生活	0.3	
13-039	湖東団地	地域	0.7	
03-089	湖東西会館	コミュニティ	0.8	
03-088	湖東会館	コミュニティ	1.2	
08-040	和地幼稚園	生活	1.5	
14-050	浜松第37分団	コミュニティ	1.5	



基本情報	リストNo	26-035	施設コード	40030	所管課	本庁	上下水道部下水道施設課			
	施設名	和地中継ポンプ場			施設	上下水道部下水道施設課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		和地中継ポンプ場に流入する汚水を西遠浄化センターへ送水する。								
		主な業務内容	汚水の送水							
		主な利用者	—							
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		下水道は生活に欠かせないものであり、市民の快適な生活を支えるためには必要な施設である。								
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測								
	特記事項	施設全体が老朽化しており、定期的な設備点検が重要となる。								
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—		2022	—	のべ募集人員	参加者数	—		
		—		2021	—	—	—	—		
		—		2020	—	—	—	—		
		—		2022	—	—	—	—		
事業②		—		2021	—	—	—	—		
		—		2020	—	—	—	—		
		—		2022	—	—	—	—		
事業③		—		2021	—	—	—	—		
		—		2020	—	—	—	—		
	—		2022	—	—	—	—			
事業④	—		2021	—	—	—	—			
	—		2020	—	—	—	—			
	—		2022	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場機械設備が建設当時の物が多く老朽化しており今後故障が多くなると予想される。								
	対応策	下水道設備については、浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。また、建物については、劣化の状況により優先順位を決め修繕していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	民生活導入	複合化	—	—	—	—				
		広域化	—	—	—	—				

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	3,795	3,795	3,733	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に務める。									

リストNo	26-036	施設コード	40031
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	木戸雨水ポンプ場		
所在(町名・番地)	中区木戸町611-1		
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘
	施設	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘
設置根拠(法)	都市計画法、下水道法、地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	496.65	土地面積 1,395.66
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1986/3/31	
	経過年数(主要建物)	37	
用途地域	近隣商業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	3	3
	収入計(A)	0	3	3
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	1,367	2,532	286
	物件費(光熱水費)	592	558	577
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,959	3,090	863	
行政コスト(B-A)		1,959	3,087	860
収支前年比		63.46	358.95	147.01
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	令和2年度 社会実(国) 長府公共第1号木戸雨水ポンプ場電気設備改修工事(第1工区)	98,485			
2020	令和2年度 社会実(国) 長府公共第1号 木戸雨水ポンプ場電気設備改修工事(第2工区)	10,502				
2019	令和19年度 社会実(国) 長府公共第1号 木戸雨水ポンプ場電気設備改修工事(第3工区)	61,050				
2019	令和19年度 社会実(国) 長府公共第1号 木戸雨水ポンプ場電気設備改修工事(第2工区)	56,643				
2019	令和19年度 社会実(国) 長府公共第1号 木戸雨水ポンプ場電気設備改修工事(第1工区)	46,226				
2018	設備改築工事	73,611				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-002	中ポンプ場	—	0.6
26-006	東雨水ポンプ場	—	1.0
26-003	北ポンプ場	—	1.1
26-005	南ポンプ場	—	1.3
その他の分類			
18-002	北寺島倉庫	地域	0.2
08-009	なのはな保育園	生活	0.2
11-003	子育て情報センター	市域	0.2
19-001	駅北駐車場	地域	0.3
14-033	浜松第5分団	コミュニティ	0.4
04-008	浜松科学館	市域	0.4
03-022	東部協働センター	生活	0.4
14-007	中消防署相生出張所・浜松第7分団	地域	0.5



基本情報	リストNo	26-036	施設コード	40031	所管課	本庁	上下水道部下水道工事課
	施設名	木戸雨水ポンプ場			施設	本庁	上下水道部下水道工事課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。					
		主な業務内容	降雨時における内水排除				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		想定を超える豪雨等の発生により、浸水被害の軽減は社会ニーズが高まっている。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測					
		想定を超える豪雨等は増加傾向にあり、今後も高い社会ニーズが予測される。					
主な事業	事業名・開催回数(2022)						
	事業①	年度	2022	事業費(千円)	—	実施状況	—
			2021	—	—	—	—
			2020	—	—	—	—
			2020	—	—	—	—
	事業②	年度	2022	—	—	—	—
			2021	—	—	—	—
			2020	—	—	—	—
	事業③	年度	2022	—	—	—	—
			2021	—	—	—	—
		2020	—	—	—	—	
事業④	年度	2022	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	
		2020	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化が進んでおり、限られた予算の中で適切に維持更新する必要がある。					
	対応策	施設の適正な維持管理を実施する。 長寿命化計画に基づき、予防保全型の維持管理と効率的な改築を実施する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	民活導入	複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	
民活導入	施設の運転管理に係る業務を委託している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	3,944	6,216	1,732	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	26-037	施設コード	40032
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水		
施設名	参野雨水ポンプ場		
所在(町名・番地)	南区参野町402		
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘
	施設	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘
設置根拠(法)	都市計画法、下水道法、地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。		
主な利用者	—		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	4,499.51	土地面積 3,811.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	4	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1982/3/1	
	経過年数(主要建物)	41	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	3	3
	収入計(A)	0	3	3
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	8,125	10,292	5,152
	物件費(光熱水費)	4,919	4,194	3,702
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	13,044	14,486	8,854	
行政コスト(B-A)		13,044	14,483	8,851
収支前年比		90.06	163.63	211.14
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	令和4年度(表2)(国) 浜松市公共第1号 参野雨水ポンプ場改修施設整備工事(第1工区) 使用	147,369	2019	令和3年度(表2)(国) 浜松市公共第1号 参野雨水ポンプ場改修施設整備工事(第1工区)	88,000
2022	令和4年度(表2)(国) 浜松市公共第1号 参野雨水ポンプ場改修施設整備工事(第1工区) 使用	77,550			
2020	令和3年度(表2)(国) 浜松市公共第1号 参野雨水ポンプ場改修施設整備工事(第1工区) 使用	128,779			
2020	令和3年度(表2)(国) 浜松市公共第1号 参野雨水ポンプ場改修施設整備工事(第1工区) 使用	124,406			
2020	令和3年度(表2)(国) 浜松市公共第1号 参野雨水ポンプ場改修施設整備工事(第1工区) 使用	169,898			
2020	令和3年度(表2)(国) 浜松市公共第1号 参野雨水ポンプ場改修施設整備工事(第1工区) 使用	517,000			

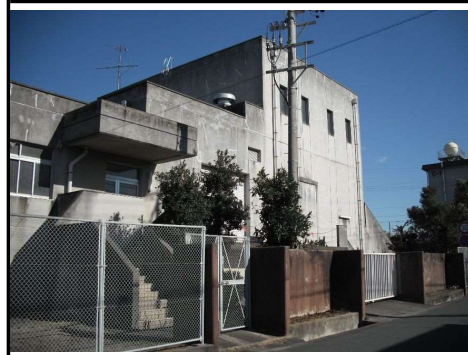
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-006	東雨水ポンプ場	—	1.9
08-044	芳川幼稚園	生活	0.3
15-128	南陽中学校	生活	0.4
15-055	芳川小学校	生活	0.4
07-076	さなえ放課後児童会	生活	0.4
07-043	さなえ第2放課後児童会	生活	0.4
14-062	浜松第26分団	コミュニティ	0.5
15-056	芳川北小学校	生活	0.9
07-046	芳北小放課後児童会	生活	0.9



基本情報	リストNo	26-037	施設コード	40032	所管課	本庁	上下水道部下水道工事課
	施設名	参野雨水ポンプ場			施設	本庁	上下水道部下水道工事課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。					
		主な業務内容	降雨時における内水排除				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		想定を超える豪雨等の発生により、浸水被害の軽減は社会ニーズが高まっている。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測					
		想定を超える豪雨等は増加傾向にあり、今後も高い社会ニーズが予測される。					
主な事業	事業名・開催回数(2022)						
	事業①	年度	2022	事業費(千円)	—	実施状況	—
		のべ募集人員	—	参加者数	—	—	
		2021	—	—	—	—	
		2020	—	—	—	—	
	事業②	2022	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	
		2020	—	—	—	—	
	事業③	2022	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	
2020		—	—	—	—		
事業④	2022	—	—	—	—		
	2021	—	—	—	—		
	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化が進んでおり、限られた予算の中で適切に維持更新する必要がある。					
	対応策	施設の適正な維持管理を実施する。 長寿命化計画に基づき、予防保全型の維持管理と効率的な改築を実施する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	施設の運転管理に係る業務を委託している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	2,899	3,219	1,967	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	26-038	施設コード	40033	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	中田島団地雨水ポンプ場			
所在(町名・番地)	南区中田島町1477			
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘	
	施設	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘	
設置根拠(法)	都市計画法、下水道法、地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	350.88	土地面積 1,430.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	有		
	建築年月日(主要建物)	1979/4/1		
	経過年数(主要建物)	44		
用途地域	第二種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



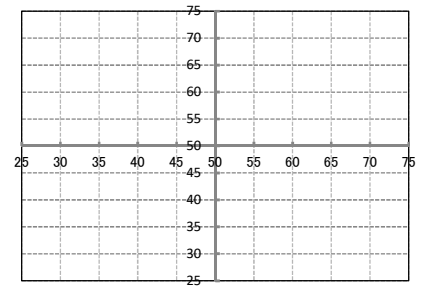
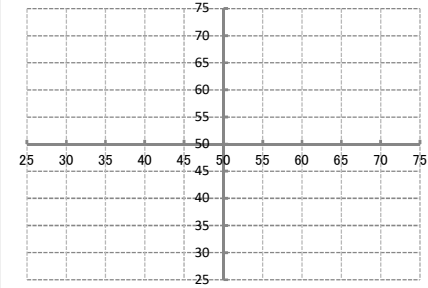
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	8	8
	収入計(A)	0	8	8
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	7,369	4,765	3,402
	物件費(光熱水費)	1,271	1,119	1,086
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	8,640	5,884	4,488	
行政コスト(B-A)		8,640	5,876	4,480
収支前年比		147.04	131.16	297.28
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	※令和2年度 社会資本(国)整備事業(1号 水戸地区水たまり排水施設修繕工事(1工区))	8,430			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
13-046	中田島団地	地域	0.1
24-030	六軒川排水機場	—	0.2
04-020	浜松まつり会館	地域	0.3
24-027	中田島排水機場	—	0.6
17-005	遠州灘海浜公園	地域	0.7
01-016	南区役所	地域	1.1
10-011	ふれあい交流センター江之島	地域	1.1
24-025	寺脇排水機場	—	1.1



基本情報	リストNo	26-038	施設コード	40033	所管課	本庁	上下水道部下水道工事課
	施設名	中田島団地雨水ポンプ場			施設	本庁	上下水道部下水道工事課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。					
		主な業務内容	降雨時における内水排除				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		想定を超える豪雨等の発生により、浸水被害の軽減は社会ニーズが高まっている。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測					
		想定を超える豪雨等は増加傾向にあり、今後も高い社会ニーズが予測される。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)					
事業①		年度	2022	事業費(千円)	—	実施状況	—
		のべ募集人員	—	参加者数	—	—	
		2021	—	—	—	—	
		2020	—	—	—	—	
事業②		2022	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	
		2020	—	—	—	—	
事業③		2022	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	
	2020	—	—	—	—		
事業④	2022	—	—	—	—		
	2021	—	—	—	—		
	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	施設の老朽化が進んでおり、限られた予算の中で適切に維持更新する必要がある。					
	対応策	施設の適正な維持管理を実施する。 長寿命化計画に基づき、予防保全型の維持管理と効率的な改築を実施する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	施設の運転管理に係る業務を委託している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	24,624	16,746	12,768	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。</p> <p>一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。</p> <p>農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。</p>							
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める									

リストNo	26-039	施設コード	40034	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	市野雨水ポンプ場			
所在(町名・番地)	東区市野町1366			
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘	
	施設	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘	
設置根拠(法)	都市計画法、下水道法、地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置に関する条例			
設置目的	降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	94.66	土地面積 1,889.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 1,889.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	2016/12/14		
	経過年数(主要建物)	6		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	332,248	—	332,248
	国・県	149,931	—	149,931
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	182,317	—	182,317
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	553	1,266	799
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	553	1,266	799	
行政コスト(B-A)		553	1,266	799
収支前年比		43.68	158.45	99.50
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	設備工事	32,386			
2016	築造工事	24,732			
2016	機械設備築造工事	129,384			
2016	電気設備築造工事	112,752			
2015	躯体築造工事	32,994			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-040	天王雨水ポンプ場	—	0.6
15-115	与進中学校	生活	0.1
14-043	浜松第21分団	コミュニティ	0.4
08-030	与進幼稚園	生活	0.7
07-023	よしん第3放課後児童会	生活	0.8
15-035	与進小学校	生活	0.8
07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活	0.8
07-078	よしん第4・第5放課後児童会	生活	0.8
03-033	長上協働センター	生活	0.9



基本情報	リストNo	26-039	施設コード	40034	所管課	本庁	上下水道部下水道工事課
	施設名	市野雨水ポンプ場			施設	本庁	上下水道部下水道工事課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		降雨時に排水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。					
		主な業務内容	降雨時における内水排除				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		想定を超える豪雨等の発生により、浸水被害の軽減は社会ニーズが高まっている。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測					
		想定を超える豪雨等は増加傾向にあり、今後も高い社会ニーズが予測される。					
主な事業	特記事項						
	事業名・開催回数(2022)						
	事業①	年度	2022	事業費(千円)	—	実施状況	—
			2021	—	—	のべ募集人員	—
			2020	—	—	参加者数	—
			2022	—	—	—	—
	事業②		2021	—	—	—	—
			2020	—	—	—	—
			2022	—	—	—	—
	事業③		2021	—	—	—	—
		2020	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—	
事業④		2021	—	—	—	—	
		2020	—	—	—	—	
		2022	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	関連部署と連携した総合的な浸水対策を実施する。					
	対応策	静岡県が実施する河川整備等と連携した内水対策を実施する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	施設の運転管理に係る業務を委託している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	5,842	13,374	8,441	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性	(縦軸) 前年収支比率等による評価		(横軸) 建物の状況(耐震性、築年数等)による評価		(縦軸) 前年収支比率市負担額1㎡あたり等による評価		(横軸) 利用状況等による評価	
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。							
		一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める									

施設カルテ 2023

リストNo	26-040	施設コード	40035	
利用用途別分類(施設分類)	下水道・農業集落排水			
施設名	天王雨水ポンプ場			
所在(町名・番地)	東区天王町650-3			
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘	
	施設	上下水道部下水道工事課	課長名 松本 弘	
設置根拠(法)	都市計画法、下水道法、地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置に関する条例			
設置目的	降雨時に雨水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	54.60	土地面積 994.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 994.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	2021/11/30		
経過年数(主要建物)	1	代表地目(現況地目) 雑種地		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	403,968	119,995	523,963
財源	国・県	124,334	55,161	179,495
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	279,359	64,834	344,193
	一般財源	275	—	275
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	553	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	553	0	0	
行政コスト(B-A)		553	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	令和3年度建設費24号受取(11名)第一排水区天王雨水ポンプ場内修繕工事	25,533			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-039	市野雨水ポンプ場	—	0.6
同分類			
その他の分類			
07-078	よしん第4・第5放課後児童会	生活	0.3
15-035	与進小学校	生活	0.3
07-023	よしん第3放課後児童会	生活	0.3
07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活	0.3
08-030	与進幼稚園	生活	0.3
15-115	与進中学校	生活	0.5
14-043	浜松第21分団	コミュニティ	0.7
03-033	長上協働センター	生活	0.9



基本情報	リストNo	26-040	施設コード	40035	所管課	本庁	上下水道部下水道工事課
	施設名	天王雨水ポンプ場			施設	本庁	上下水道部下水道工事課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		降雨時に雨水ポンプを稼働させ、浸水被害を防止することによって、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。					
		主な業務内容	降雨時における内水排除				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		想定を超える豪雨等の発生により、浸水被害の軽減は社会ニーズが高まっている。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測					
		想定を超える豪雨等は増加傾向にあり、今後も高い社会ニーズが予想される。					
主な事業	事業名・開催回数(2022)						
	事業①	年度	2022	事業費(千円)	—	実施状況	—
			2021	—	—	—	—
			2020	—	—	—	—
			2020	—	—	—	—
	事業②	年度	2022	—	—	—	—
			2021	—	—	—	—
			2020	—	—	—	—
	事業③	年度	2022	—	—	—	—
			2021	—	—	—	—
事業④	年度	2022	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	
	2020	—	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	関連部署と連携した総合的な浸水対策を実施する。					
	対応策	静岡県が実施する河川整備等と連携した内水対策を実施する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
記入欄	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	施設の運転管理に係る業務を委託している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	10,128	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性					※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。		
		利用用途別分類毎の方向性	水道事業に比べ業務の開始時期が遅く、都市の拡大にともない下水道事業の拡大を進めてきた状況などもあることから、全般的に新しい施設となっています。 一方、今後の改修・更新経費はますます増加していくものと予想されます。 今後は、平成27年度に改訂した「浜松市下水道ビジョン」に基づき、下水道事業経営プラン及び下水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、令和3年度に策定した「下水道事業アセットマネジメント計画」に基づく管きよ・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、処理区の統廃合を見据えた施設規模の適正化等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「未来へつなげる水のみち」の実現に向けて、下水道事業の持続可能性を高めていきます。 農業集落排水施設についても下水道事業同様の考え方により、施設更新や施設管理を行います。					
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
浜松市下水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								